



9月園だより

令和5年9月1日

第三ひもんや保育園園長

日中はまだまだ暑い日が続いていますが、日が落ちるのも早くなりました。朝晩の鈴虫の鳴き声を聴くと秋がすぐそこまで来ているようです。子どもたちは、このひと夏で色々な体験を得た様子が伺えます。その経験を、早速遊びに取り入れ楽しむ姿があちらこちらで見られ、一回りたくましくなったように感じます。先日1歳児クラスを覗くと水遊びを終えた子どもが傍にあったビーズコースターで遊び始めました。その様子を見守っていると、ビーズを最後まで動かすたびに保育士の顔をじっと見つめます。「やったね」と声を掛けると、にっこりと笑顔を見せて、またビーズを動かします。このやりとりを何度か繰り返して楽しんでいました。すると今度は「やったね」という保育士の口元をじっと見つめています。少し口角を上げて嬉しさを表現するとその顔を認識して納得したかのように満面の笑みを見せ嬉しさを共有してくれる姿が見られました。乳幼児期の子どもたちにとって「表情」は大事な情報のひとつです。子どもは顔が好きで大人の表情をよく見えています。その人を認識し、感情を読み取り覚えていきます。子どもとコミュニケーションをとる上で顔の表情を通して伝えることも大切だと改めて感じます。安全に配慮しつつも、表情豊かにコミュニケーションを取りながら相手の気持ちを感じられる関わりを重ねたいと思います。

行事予定

総合防災訓練（引き取り訓練）	全園児
プール閉まり（雨天時8日）	
稲刈り	5歳児
身体計測	全園児
避難訓練	全園児

〈10月の予定〉

運動会	2～5歳児	雨天決行
芋ほり遠足	4、5歳児	
身体計測	全園児	
避難訓練	全園児	



収穫の様子

「楽しいピーマン」



ちょうちょ組ではピーマンを育てていて、ピーマンの水やりも園庭遊びの楽しみの一つです。毎日水をあげ、ピーマンがたくさん実りました。子どもたちが収穫し、保育室で栄養士に調理してもらいました。調理の様子を目の前で見ると、子どもたちの目は釘付けです。蒸し焼きにした白い蒸気がモクモクと昇ると「わあー」と大歓声が上がっていました。子どもたちが自分で育てて、目の前で調理してもらったピーマンの味は格別のように「ピーマンもっとちょうだい」と言ってお皿を差し出す場面もありました。この日以来、その子はピーマンが大好きになりました。ご飯やおやつ時間が近づくと「ピーマン（はあるかな）」と呟いていることもしばしばあります。好きなものや楽しみなことが、生活の中でつながっていくような活動に取り組んでいきたいです。



幼児クラスのプールの様子をお知らせします

3歳（みつばち組）

「初めてのプール」

初めてのプールに最初はドキドキしながら入っていましたが、プールの中を歩いたり沈んだ玩具を捨ったりして遊ぶ中で、少しずつ水にも慣れてきました。プールの中でワニ泳ぎをしてみると、ある子は底に手を伸ばしてみますが、顔が水面に近づくと立ち上がっていました。そこで保育士が「支えてあげるからやってみようか」と声をかけると小さくうなずきました。初めは緊張して体に力が入っていましたが、顔が水面につかないように体を支えていることが分ると、自分で手を前に出して進もうとしていました。「すごいね、泳げてるよ」と声をかけ、端まで辿り着くと嬉しそうな笑顔が見られました。またある子は、ワニ泳ぎしている時に「足をピンと伸ばすといいよ」と声を掛けると「こう」「できてる」と聞いてました。「足が伸びて素敵だね」と伝えると、次から「できるから見てね」と自信たっぷりに披露していました。子どもたちはプール活動の中でドキドキすることにも挑戦し、できた喜びが自信や意欲につながりました。

4歳（とんぼ組）

「少し勇気を出して」

「プールに入れるよ」と伝えると「やったー」と準備を始め、着替えにもやる気が見られます。その中で、久しぶりのプールに緊張をされていて友達からの水しぶきに顔をしかめている子がいました。しかし、数日プール活動を繰り返していく中で、フープに向かってジャンプをする子がいました。その子の姿をみて「すごいね。いるかみたいだね」と驚いていました。保育士が「どうやったらそんなふうに泳げるの」と尋ねると「おめめをぎゅってつぶるんだよ。それからジャンプするの」と教えてくれました。その話を聞いて、友達もその場で目をつぶっています。「ちょっとやってみる」と聞くとうなずき、勇気をもって少しジャンプをしてみることができました。少し鼻に水が入ったのか表情は険しそうでしたが、周りにいた子たちに「すごいね。できてるよ」と言ってもらい嬉しそうにしている、次からも同じ技に挑戦する姿が見られました。友達のできることを見て、自分もやってみよう、挑戦しようとする姿がたくさん見られたり、少し怖いけど友達や保育士の前でやってみようと頑張る姿をたくさん見ることでできたプール活動でした。



5歳（かぶとむし組）

「目標に向かって」

プール開きの前に一人ずつ目標を考えました。「イルカジャンプをしたい」「潜れるようになりたい」など思い思いの目標を決めてみんなの前で発表しました。プールが始まると初日から大きな水しぶきをあげて大ジャンプを見せてくれたり、自分で鼻をつまんで目をつぶり「潜るよ、見てて」と意を決して潜るなど、積極的に水に親しむ姿が見られました。始めは、フープをワニ泳ぎやしゃがんでくぐり、楽しんでいましたが、段々と、一本目のフープは潜って下を通り抜け二本目には盛大にとび込んでみる等自分たちで色々試してみる姿が出てきました。それぞれに身体も大きくなり、プールも縦方向に泳ぐとすぐに向こう岸についてしまうので斜めの線を使って泳ぐようにしました。自分たちで決めた目標を覚えていてできるようになった時は大喜びし、とても誇らしそうでした。みつばち組の頃から好きでやってきた宝拾いも、潜れるようになった子が増えてあっという間に全部拾ってしまうので「赤い札を見つけたら10ポイントね」等ゲーム感覚で楽しみました。保育園生活最後のプールを存分に楽しみ、生き生きとした笑顔をたくさん見せてくれました。